



< H22041121 >

注意事項

- 1 問題冊子は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
- 2 問題は2～7ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
- 3 解答はすべてマーク解答用紙の記入欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルでマークすること。
- 4 試験開始後、氏名をマーク解答用紙の所定欄（一ヶ所）に記入すること。
- 5 マーク欄ははつきり記入すること。また、訂正する場合は、消しゴムでていねいに、消し残しがないように消すこと（砂消しゴムは使用しないこと）。

| | | | |
|---------|------|------|------|
| マークする時 | ● 良い | ○ 悪い | ○ 悪い |
| マークを消す時 | ○ 良い | ○ 悪い | ○ 悪い |

- 6 試験終了の指示がでたら、すぐに解答を止め、筆記具を置くこと。
- 7 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
- 8 いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

(一) 次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。

日本には傑れた道化芝居が殆んど公演されたためしがない。文学の方でも、井伏鱒二という特異な作家が存在はするが、一般に、批評家も作家も、編集者も読者も厳シクで、笑うことを好まぬという風がある。

笑いは不合理を母胎にする。笑いの豪華さも、その不合理とか無意味のうちにあるのである。ところが何事も合理化せずにはいられぬ人々が存在して、笑いも亦合理的でなければならぬと考える。無意味なものにゲラゲラ笑って愉しむことができないのである。そうして、喜劇には諷刺がなければならぬという考えを持つ。

然し、諷刺は、笑いの豪華さに比べれば、極めて貧困なものである。諷刺する人の優越がある限り、諷刺の足場はいつも危く、その正体は貧困だ。諷刺は、諷刺される物と対等以上であり得ないが、それが揶揄という正当ならぬ方法を用い、**A** 自ら不当に高く構えこんでいる点で、物言わぬ諷刺の対象がいつも勝を占めている。

諷刺にも優越のない場合がある。諷刺者自身が同時に諷刺される側へ参加している場合がそうで、また、諷刺が虚無へ渡る橋にすぎない場合がそうだ。これらの場合は、諷刺の正体がすでに不合理に属しているから、**B** 諷刺と云えないだろう。諷刺は本来笑いの合理性を捉とし、そこを踏み外してはならないのである。

道化の国では、警視總監が泥棒の親分だったり、精神病院の院長先生が精神病だったりする。そのとき、警視總監や精神病院長の揶揄に留まるものを諷刺という。**C** 諷刺は対象への否定から出発する。これは道化の邪道である。むしろ贗物なのである。

正しい道化は人間の存在自体が孕んでいる不合理や矛盾の肯定からはじまる。警視總監が泥棒であっても、それを否定し揶揄するのではなく、そのような不合理自体を、合理化しきれないゆえに、肯定し、丸呑みにし、笑いという豪華な魔術によって、有耶無耶のうちにそっくり昇天させようというのである。合理の世界が散々もてあました不合理を、もはや精魂つきはてたので、突然不合理のまま丸呑みにして、笑いとはして了おうというわけである。

だから道化の本来は合理精神の**D**だ。そこまでは合理の法でどうにか捌きがついてきた。ここから先は、もう、どうにもならぬ。——という、ようやっと持ちこたえてきた合理精神の歯をくいしばった洗面が、笑いの国では、突然赤禪ひとつになって裸踊りをしているようなものである。それゆえ、笑いの高さ深さとは、笑いの直前まで、合理精神が不合理を合理化しようとしてどこまで努力してきたか、そうして、到頭、どの点で兜を脱いで投げ出してしまったかという程度による。

だから道化は戦い敗れた合理精神が、完全に不合理を肯定したときである。即ち、合理精神の悪戦苦闘を経験したこのない超人と、合理精神の悪戦苦闘に疲れ乍らも決して休みを欲しない超人だけが、道化の笑いに洩もひっかけずに済まされるのだ。道化はいつもその一步手前のところまでは笑っていない。そこまでは合理の国で悪戦苦闘していたのである。突然ほうりだしたのだ。もしやくしゃして、原料のまま、不合理を突きだしたのである。

道化は昨日は笑っていない。そうして、明日は笑っていない。一秒さきも一秒あとも、もう笑っていないが、道化芝居のあいだだけは、笑いのほかには何物もない。涙もないし、揶揄も無いし、凄味などというものもない。裏に物を企んでいる大それた魂タンは微塵もないのだ。ひそかに裏に諷しているしみつたれた精神もない。だから道化は純粹な休みの時間だ。昨日まで**a** 営々と貯めこんだ百万円を突然バラまいてしまう時である。惜しげもなく底をはたく時である。

道化は**b** 口ウ費であるけれども、一秒さきまで営々と貯めこんできた努力のあとであることを忘れてはならない。甚だしく勤勉な貯金家が、エイとばかりに矢庭に金庫を蹴とばして、札束をポケットというポケットにねじこみ、さて、血走った眼付をして街へ飛び出したかと思うと、疾風のようにみんな使って、元も子もなくしてしまったのである。

道化の国では、ビールよし、シャンパンよし、おしるこもよし、巴里の女でもアルジェリアの女でもなんでもいい、使い果たしてしまうまでは選り好みなしにO・Kだ。否定の精神がないのである。すべてがそっくり肯定されているばかり。泥棒も悪くないし、聖人も善くはない。学者は学問を知らず、裏長屋の熊さんも学者と同じ程度には物識りだ。即ち泥棒も牧師くらい善人なら、牧師も泥棒くらい悪人なのである。善玉悪玉の批判はない。人性の矛盾撞着がそっくりそのまま肯定されているばかり。どこまで行っても、ただ肯定があるばかり。

A 道化の作者は誰に**c** 最良も同情もしない。また誰を憎むということもない。ただ肯定する以外には何等の感傷もない木偶なのである。憐れな孤兒に同情もしないし、無実の罪人もいたわらない。ふられる奴にも助太刀しないし、貧乏な奴

に一文もやらない。ふられる奴は散々ふられるばかりだし、みなしごは伯母さんに殴られ通しだ。ふられた奴が恋仇の結婚式で祝辞をのべ、死んだ奴が花束の下から首を起して突然棺桶をねぎりだす。別段死者や恋仇をいたわる精神があるわけじゃない。万事万端ただ森羅万象の肯定以外に何物もない。どのような不合理も矛盾もただ肯定の一手である。エ 揶揄を肯定に変える、それが道化作者の腕の見せどころである。解決もなく、解釈もない。解決や解釈で間に合うなら、笑いの国のお世話にはならなかった筈なのである。

(坂口安吾の文章による)

問一 傍線部1～3にあたる漢字がカタカナ部分に使われている語をそれぞれ次のア～オから一つ選び、その解答欄にマークせよ。

- | | | | | | | | | | | |
|---|---|------|---|------|---|------|---|------|---|------|
| 1 | ア | 投シユク | イ | シユク清 | ウ | 私シユク | エ | 収シユク | オ | シユク賀 |
| 2 | ア | 大タン | イ | 極タン | ウ | タン任 | エ | タン発 | オ | タン能 |
| 3 | ア | ロウ閣 | イ | 翻ロウ | ウ | 敬ロウ | エ | 明ロウ | オ | 流ロウ |

問二 空欄 A C に入るもつとも適当な語をそれぞれ次のア～オから選び、その解答欄にマークせよ。

- | | | | | | | | | | | |
|---|---|-------|---|-------|---|------|---|------|---|------|
| A | ア | はからずも | イ | すべからく | ウ | よしんば | エ | すでに | オ | ただし |
| B | ア | もはや | イ | なかんずく | ウ | まるで | エ | かえって | オ | さながら |
| C | ア | まして | イ | くしくも | ウ | むしろ | エ | すなわち | オ | いわんや |

問三 空欄 D に入るもつとも適当な語句を次のア～オから選び、その解答欄にマークせよ。

- | | | | | | | | | | |
|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
| ア | 破壊 | イ | 延命 | ウ | 昇華 | エ | 休息 | オ | 否定 |
|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|

問四 傍線部 a「営々と貯めこんだ百万円を突然バラまいてしまう」という表現にもつとも近い語句を次のア～オから選び、その解答欄にマークせよ。

- | | | | | | | | | | |
|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
| ア | 贅沢 | イ | 蕩尽 | ウ | 豪遊 | エ | 道楽 | オ | 無頼 |
|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|

問五 「道化の作者は」から始まる最後の段落には全体の論旨に合わない文が一つ挿入されている。その文はどれか。段落中のア～オから選び、その解答欄にマークせよ。

問六 この文章で筆者が主張している内容として適当なものを次のア～カから二つ選び、その解答欄にマークせよ。

- ア 人生の自己撞着をそのまま肯定する大いなる矛盾の中にこそ、日本の笑いの文化の真髓がある。
- イ 諷刺と揶揄のもつ笑いの貧しさは、笑う者と笑われる者の関係が固定化されているところからくる。
- ウ 皮肉をもつて対象を揶揄する諷刺の作用が、貧しい笑いを豊かな笑いへと変貌させる。
- エ 道化の本質は、不合理を合理化しようとする努力の果てに、その不可能性に気づいてすべてを受け入れようとする身振りのうちにある。

オ 笑いは不合理を母胎とするが、それを諷刺によって合理化するプロセスによって深まる。
カ 道化の笑いは、真摯に人生に向き合う人には必要ないが、人生に疲れた人には適している。

(二) 次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。

「脳死」という言葉が聞かれるようになって既に久しい。長い間だれも疑わなかった「終わり」の感覚がここに来て揺らぎ始めた。いつ、どういう状態になった時をもって「死」と呼ぶのか、その定義すら曖昧になってしまっている。むしろ久しく漠然と曖昧にやってきた死と生の哲学に科学主義が入りこんで「精密」化した議論が可能になる時代の入口に、我々はいると言えるのかもしれない。いずれにしろ、最後の一线が無限に曖昧化することで、ひと一人の短い生涯を「物語」として完結させる起承転結の構造が、

A と言わないまでも確実に腐食させられていく。全体の意味の枠組みが日々見えにくくなり、その日その日の中で勝手に「生」の意味を手さぐりしていくしかない二十世紀末人のあり方は、(捏造されてきたものにもしろ)死の尊厳という観念に見棄てられた彼の日々の「耐えられない軽さ」に一番端的に見られるだろう。テレビに、小説に我々がこれほど「物語」を、英雄の「死」を求める時代って何だろうかという問題も、きつとこのことに関係がある。無意味の哲学をよしとする時代でありながら、結局は完全な無意味に耐えられないのが人間なのである。意味は十全な完結をもって生じる。究極的な無意味に「形」を、「物語」を与えようとして、むしろ人は「死」を発明したと言えまいか。

そしてそれは別に二十世紀末人の特権的な懊悩でも工夫でもない。おそらく美術史、ヴィジュアル史のつけから死の主題はあった。と言うより、ことあげできない究極の無意味の直観に「形」を与えるヴィジュアルなものへの魅惑そのものが、死の調伏(ちょうふく)という一種儀礼的な性格を帯びているのである。見えないものを見させることで、見えないもののまとう不安を拭い去る装置としてこそ「絵」は出発した。絵は死と骨がらみなのである。

見えることへの安心感が「近代」をつくってきたとかねがね考えているのだが、すると十九世紀に体をなした「視覚のへゲモノ」と葬儀産業の結託ということが特に面白い。死を過剰に、よりスペクタキュラーなものとして「公開」する今般の葬礼資本主義の人間ほどヴィジュアルなものへの魅力を知りつくしているものはいない。日本で言えば名古屋が凄い。彼らが開発するヴィジュアルに着目することのない死の美術論はナンセンスである。豪華な典礼の式次第に塗ッくと言われたもの(注)だつて実はこれと全然違わぬものだったのである。十七世紀初め、マニエリスムと呼ばれ、パロ

墓地に花を飾るようになったのはいつなのか、霊柩車(れいこぐるま)が背にのせている豪華な意匠にひそむ画像学は何であるのか……といったポピュラー(注)な次元にこそ目を向けなければならない。資本主義さえ、極言すれば死の大衆的調伏の心理学と手をたずさえて出発したと言えるところがある。産業とヴィジュアル文化が結びついたところに夥しい死の画像学が開発されていった。

死んだ人間の寒々とした状況をいかにもというタッチで描いた絵などよりは、一見豪奢そのものの近代初めの静物画の方が、「死んだ自然」というその名の通り(注)はるかに「死」の問題を考えさせる。自然の死ということなら、十八世紀以降急進展していく動物の殺戮という凄惨な事件の痕跡をとどめる夥しい博物誌の挿絵と剥製展示の文化だつてちやんと取りあげなければならぬ。死の美術史を人間のそれだけに限定する「人間中心主義」に既に大問題があるのである。動物に向けられた同じ目が動物と同水準のものとみなされた女性や死刑者に向けられた時、十八世紀の解剖図譜の大流行がうまれた。僕自身別に世に言うフェミニストではないが、死を愛とくっつけて「愛死」などという情死礼賛観念をつくり、それを女性におしつけていったロマン派のうつろな女性 B の背後で、名著「セクシャル・ヴィジョン」でリュドミラー・ジョーダノヴァ(注)が告発するような女性肉体の解剖と、それによる男性中心的な「近代」医学が発見していったわけである。

何を言いたいかと言えば、要するに「近代」とヴィジビリティもしくはヴィジュアリティの切っても切れない関係を展覧させてくれないようなら、いくら死をめぐる、絵の中で現に人が死んでいるようなヴィジュアルをたくさん集めても仕方がないということである。究極的には絵とか、ヴィジュアルなものそのものが無意味を囲い込むという意味では、根本的に死の調伏機械だったのであり、したがって「死の舞踏」とか「死と乙女」だとかいった、そのものズバリの死の美術は実は結構複雑な自己言及装置なのである。

死の調伏ということ長い中世、ルネサンス期をやってきたこういう絵ないし「可視」化の文化が、言ってみればその可視化、擬人的な物語に世界を変換してみせる欲望に溺れていくのが、十八世紀以後ということになる。啓蒙主義というのがそれで、要するに視線の持つ「世界殺戮」の技術の問題である。この点に関しては、おそらく今一番「可視化」と「近代」のつながりを壮大徹底的にやっているのがバーバラ・スタフォード(注)という人で、風景や生命を可視化する代わり相手を殺してしまう人間視線の生む「死」が問題になり始める。何も死ぬのは人間ばかりではない。ヴィジュアルが扱う死の範囲を広げて考えなければならぬと思う所以だ。

(高山宏の文章による)

- 注1 調伏……祈禱によって怨霊や怨敵を下すこと。
- 注2 マニエリスム、パロック……いずれも美術史上の様式を指す言葉。
- 注3 ポピュラー……「大衆的」という意味のフランス語。
- 注4 ナチュール・モルト……フランス語で「死んだ自然」を意味する。
- 注5 リュドミラー・ジョーダノヴァ……イギリスの科学史家。
- 注6 バーバラ・スタフォード……アメリカの芸術史家。

問七 空欄 A に入るもつとも適当な語句を次のア～オから選び、その解答欄にマークせよ。

- ア 逆転 イ 失敗 ウ 転覆 エ 閉塞 オ 崩壊

問八 傍線部1「究極的な無意味に「形」を、「物語」を与えようとして、むしろ人は「死」を發明した」とはどういう意味か。もつとも適当なものを次のア～オから選び、その解答欄にマークせよ。

- ア 「無意味の哲学」を追求した結果、「死」に特別な意味が付与された。
イ 人間の一生を完結させる「死」の機能が、意識化されるようになった。
ウ 「死」を美化する行為を通して、「生」の意味も見出されるようになった。
エ 「脳死」という科学主義による「死」が、二十世紀末になって新たに創られた。
オ 英雄の物語を持ち込むことで、無意味な人生を意味あるものに変貌させた。

問九 傍線部2「ことあげできない」の意味としてもつとも適当なものを次のア～オから選び、その解答欄にマークせよ。

- ア 表だって批判ができない イ 具体例をあげることができない ウ 言葉に出して説明できない
エ 事実として提示できない オ 明確に特定できない

問十 傍線部3「視覚のヘゲモニー」と葬儀産業の結託の説明として、もつとも適当なものを次のア～カから選び、その解答欄にマークせよ。

- ア 葬礼資本主義とも呼べる資本主義の戯画化が進行しているということ
イ 典礼を目に見える形で大衆化することで葬儀産業が利潤を上げていること
ウ 今日の葬儀産業が死の可視化による効果を利用しているということ
エ 葬儀産業の背景にマニエリスムやバロックと呼ばれる様式の哲学があるということ
オ 葬儀産業に従事する人々が死の美術論に精通しているということ
カ 葬礼資本主義が死の心理学を大衆化したものであるということ

問十一 空欄 B に入るもつとも適当な語句を次のア～オから選び、その解答欄にマークせよ。

- ア 蔑視 イ 擁護 ウ 偏愛 エ 崇拜 オ 差別

問十二 傍線部4「視線の持つ「世界殺戮」の技術の問題」の意味として、もつとも適当なものを次のア～オから選び、その解答欄にマークせよ。

- ア 視覚の優位による多様な事象の一元化
イ 西欧技術の覇権による東洋文明の従属化
ウ 物理学の方法による自然世界の可視化
エ 知識の映像化による自然と文化の破壊
オ 近代合理主義的思考による伝統文化の根絶

問十三 この文章の内容に合致するものを次のア～カから二つ選び、その解答欄にマークせよ。

- ア 「死の尊厳」という概念が捏造されたものと見抜いた二十世紀人にとって、ヴィジュアルな英雄の物語は新しい哲学となった。
イ 古来、絵画は、見えないものに対する不安を取り去る機能を持ち、死に対する畏れを鎮めてきた。
ウ 「静物画」というジャンルは「死」について深く考察させるが、その背景には事物肯定の思想がある。
エ 死の可視化および大衆化は近代美術研究の重要課題であり、とりわけ解剖図譜等との関連は重視されるべきである。
オ 絵画という装置のなかに「死の舞踏」や「死と乙女」といったテーマを置くことによって、「死」が「死」自体について言及するという複雑な構造が現れた。
カ 死の可視化への欲望は、人々が死をより多く目撃することになった二十世紀に特有のものである。

(三) 次の文章は『増鏡』にある龜山上皇出家の際の話である。よく読んで、あとの問いに答えよ。

中務の宮の御むすめは、もとよりいとあざやかならぬ御覚えなりしかば、世を捨てさせ給ふきはとて、とりわきたる御名残もなかるべし。禪林寺の上の院の、人はなれたる方に据え聞えさせ給へれば、ことにふれて、いとさびしく心細き御有様なるを、おのづから言とひ聞ゆる人もなし。

源氏の末の君に、中將ばかりなる人、院に親しく仕うまつりなれて、家もやがてそのわたりにあれば、程近きままに折々この宮の御宿直など心にかけてつかまつるを、さぶらふ人々もいとありがたくも思ふ。宮の御方は、この比いみじき御さかりの程にて、まほにうつくしうおはしますを、あたらしう見奉りはやす人のなき事と思ひあへり。

七月ばかり、風あららかに吹き、稲妻けしからずひらめきて、神なりさわぐ、常よりも恐ろしき夜、はかばかしき人もなければ、上下いとあはたたく、心細う思しまどふ。法皇は龜山殿に、過ぎにし比よりおはしませば、近きあたりだに、人のけはひも聞えず。哀れなるほどの御有様にて、墨をすりたらんやうなる空のけしきのうとましげなるを、ながめさせ給ふほどに、例の中將そぼち参りて、侍めくもの一、二人、弓など持たせて、「御宿直つかまつらせ侍るべし。なにがしも、侍のかたに侍らん」と申すにぞ、いささか頼もしくて、人々慰め給ふ。

おはします母屋とあたれる廂の高欄におしかかりて、香染めのなよやかなる狩衣に、薄色の指貫うちふくだめるけしきにて、しめじめと物語しつつ、いたう更け行くまで、つくづくとさぶらひ給へば、御簾の中にも心づかひして、はかなきいらへなど聞ゆ。

暁がたになりぬれば、御几帳ひき寄せて、御とのごもりぬるかたはらに、いとなれ顔にそひふす男あり。夢かやと思して御覧じあげたれば、「年月思ひ聞えつるさま、おほけなくあるまじき事と思ひかへさひ、こころ忍ぶるに余りぬる程、ただ少し、かくて胸をだにやすめ侍らんばかり」など、いみじげに聞ゆるは、はやうありつる

A なりけり。

いとうたて心憂のわざや、と思すに、御涙もこぼれぬ。近き手あたり御もてなしのなよびかさなど、まして思ひしづむべうなければ、いとほしうゆくりなき事とは思ひながら、残りなうなりぬ。身のうさの限りなうもあるかな、と前の世も恨めしう、いふかひなき事を思し続けて、よよと泣き給ふさま、いよいようたし。

見るとしもなき夢のただちをうちおどろかす鐘の声、鳥の音も、人やりならぬ心づくしに、えいでやらす。

起きわかれ行く空もなき道芝の B よりさきに我や消なまし

出でがてにやすらひたる面影も、なにの御目とまるふしもなし。さばかりいみじかりし院の御目うつりに、こよなの契りの程や、と思し知らるるもつらければ、いらへもし給はず。あさましうも心うくも、さまざまに思し乱るるに、御心地もまめやかにそこなはれぬべし。

問十四 傍線部1「あざやかならぬ御覚え」、傍線部4「いとほしうゆくりなき事」の解釈としてもっとも適当なものをそれぞれ次のア～オから選び、その解答欄にマークせよ。

- | | | | | | | |
|---|---|------------|---|------------|---|------------|
| 1 | A | はつきりしない御性格 | イ | 見栄えのしない御容姿 | ウ | 取るに足りない御出自 |
| | エ | めでたくもない御寵愛 | オ | かんばしくない御評判 | | |
| 4 | A | 愛らしく、可憐な事 | イ | 恋しくて、切ない事 | ウ | 気の毒で、突然の事 |
| | エ | 勝手に、理不尽な事 | オ | 不憫で、痛ましい事 | | |

問十五 二重傍線部 a e 「なる」の中で、断定の助動詞はいくつあるか。次のア～オから選び、その解答欄にマークせよ。

- ア 一つ イ 二つ ウ 三つ エ 四つ オ 五つ

問十六 傍線部2「あたらしい見奉りはやす人のなき事と思ひあへり」とはどういうことか。もつとも適当なものを次のア～オから選び、その解答欄にマークせよ。

ア どんなに着飾っても、それを褒めてくれる法皇はすでに側にいないと、中務の宮の御むすめが落胆している。
イ このやるせない思いをわかつてくれる人はいないのだからかと、中務の宮の御むすめが悲しみに暮れている。
ウ この屋敷を気にかけて尋ねてきてくれる物好きなどいないのだと、中務の宮の御むすめが寂しく思っている。
エ 美しい中務の宮の御むすめが独り身なのを惜しいと思ってくれる人はいないのかと、侍女たちが嘆いている。
オ 中務の宮の御むすめにとって、法皇以上に頼れる人がいるわけではないと、侍女たちが勝手に決めつけている。

問十七 傍線部3「はかなきいらへなど聞ゆ」の主語は誰か。次のア～オから選び、その解答欄にマークせよ。

ア 中務の宮の御むすめ イ 中将 ウ 人々 エ 侍 オ 法皇

問十八 空欄 A に入るもつとも適当な語句を次のア～オから選び、その解答欄にマークせよ。

ア 中務の宮の御むすめ イ 中将 ウ 人々 エ 侍 オ 法皇

問十九 空欄 B に入るもつとも適当な語を次のア～オから選び、その解答欄にマークせよ。

ア 君 イ 夢 ウ 雲 エ 雨 オ 露

問二十 傍線部5「さばかりいみじかりし院の御目うつりに、こよなの契りの程や、と思し知らるる」とは中務の宮の御むすめのどのような気持ちを表現していると考えられるか。もつとも適当なものを次のア～オから選び、その解答欄にマークせよ。

ア 中将との今宵の一件が、愛する法皇の耳に入ることになったらどうしよう、と動揺している。
イ 法皇を愛していたはずなのに、こうも簡単に中将に惹かれてしまうと、と自らを責めている。
ウ 法皇に比べ、明らかに見劣りする中将と関係を持つてしまったことを、情けなく感じている。
エ 法皇と別れた以上、新たな男の庇護に頼らずには生きていけない自らの境遇を嘆いている。
オ 法皇の出家直後に、他の男に身を任せたことが周囲に知られるのを、恥ずかしく思っている。

〔以下余白〕

以下訂正済みですが、実際の試験では下記の訂正がありました。

早稲田大学 国際教養学部 一般入学試験問題の訂正内容

【国語】

問題用紙2ページ(一)問題文24行目

(誤)

だから道化は戦い破れた……………

(正)

だから道化は戦い敗れた……………